

おおひら
国道4号 大衡地区
計画段階評価
第1回 説明資料

■ 地域や道路交通の現状と課題	
1. 地域の概要	・・・ 1
2. 国道4号の状況	・・・ 2
3. 地域の状況	・・・ 4
4. 道路交通の状況と課題	・・・ 7
5. 地域の状況と課題	・・・ 11
■ 政策目標の設定	
6. 政策目標の設定	・・・ 13
■ 意見聴取方法	
7. 地域からの意見聴取方法	・・・ 16
■ 今後の計画段階評価手続きの進め方	
8. 今後の計画段階評価手続きの進め方	・・・ 20

1. 地域の概要（位置）

- ◆大衡村は県都仙台市から北に約20~30kmに位置し、人口は約5,600人。
- ◆中央部に国道4号、東部に東北自動車道、東北新幹線が南北に縦貫している。
- ◆村内には2つの中核工業団地があり、近年、自動車関連企業の拠点を活発化している。



【第二仙台北部中核工業団地】



資料: 宮城県ホームページより

【宮城県大衡村周辺】



	宮城県	大衡村
・人口	2,312,095人 (944,802世帯)	5,656人 (1,828世帯)
・面積	7,258.80km ²	60.19km ²
・人口密度	322.3人/km ²	88.6人/km ²
・可住地面積	3,145.07km ²	30.69km ²
・高齢化率	22.3%	24.2%

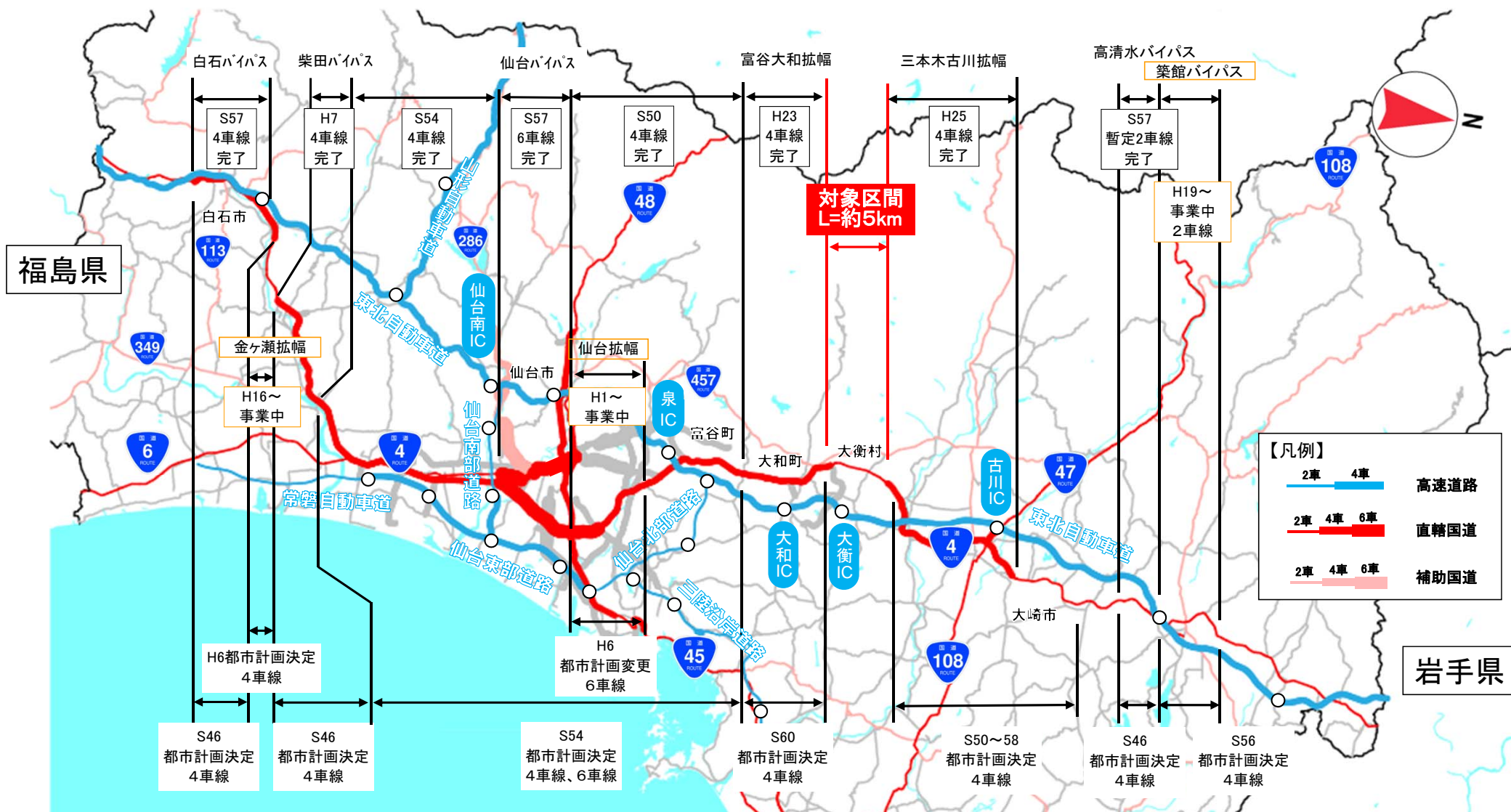
資料: ・人口: 住民基本台帳人口及び世帯数 (H26. 4)
 ・可住地面積: 統計でみる市区町村のすがた2013
 ・その他: H22国勢調査

【凡例】

- : 主要都市
- : 国道2車線
- : 国道4車線
- - - : 事業中区間
- : 高速自動車道2車線
- : 高速自動車道4車線

2. 国道4号の状況（整備経緯）

- ◆宮城県内の国道4号は、バイパス・拡幅により仙台市都心部は6車線化、その他の仙台市隣接市町村並びに県北・県南の主要都市は4車線化することを昭和50年代までに都市計画決定。
- ◆仙台市及び隣接市町村は平成23年2月に整備が完了し、大崎市南部は平成25年3月に整備を完了。
- ◆残る区間のうち、県内の2車線区間において課題が集中している大衡地区を計画段階評価対象区間に設定。



交通混雑の発生

大衡村での交通流動は仙台市・富谷町・大和町といった南側地域のほか、北側の拠点地域である大崎市からの流動が顕著。

対象区間の2車線区間は前後の4車線区間からの交通集中によりボトルネックとなっている状況で交通混雑や渋滞発生。



大衡地区がボトルネックとなっている



危険な歩行空間

対象区間は、通学路に指定されているが、歩道未設置区間や幅員狭小区間（2.0m未満）が存在。

また、歩道未設置区間にバス停が3箇所存在し歩行が危険。

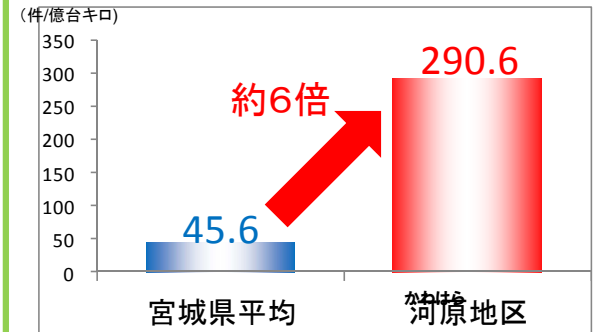
さらに、冬期は堆雪により歩道利用が更に困難。



事故率が高い

対象区間の事故率は県平均事故率の約4～6倍となっており、追突事故が約8割を占める。

また、沿道出入り交通等による死亡事故が平成21年度に発生。



資料：H20～H23イタルダデータ（単路部・交差点部）

【凡例】

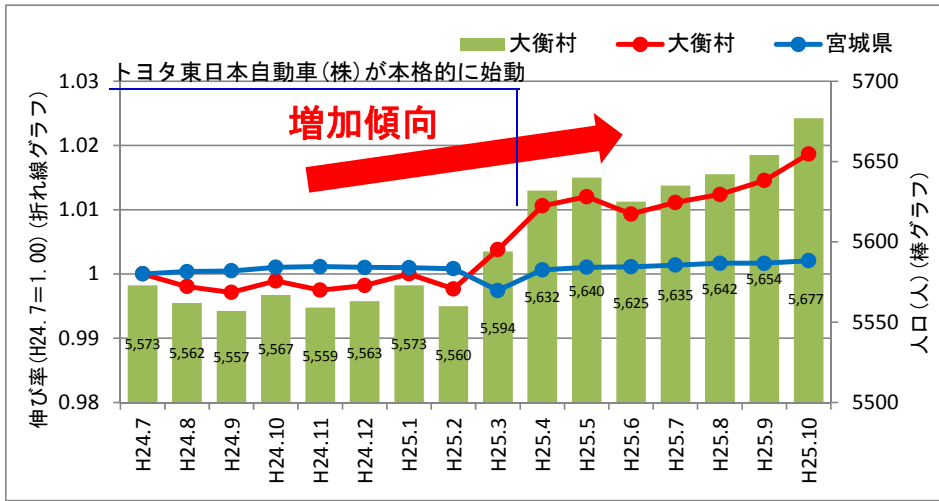
- : 国道2車線
- : 国道4車線
- : 高速自動車道
- : 主要地方道2車線
- : 主要地方道4車線
- : 一般県道



3. 地域の状況（地域間流動）

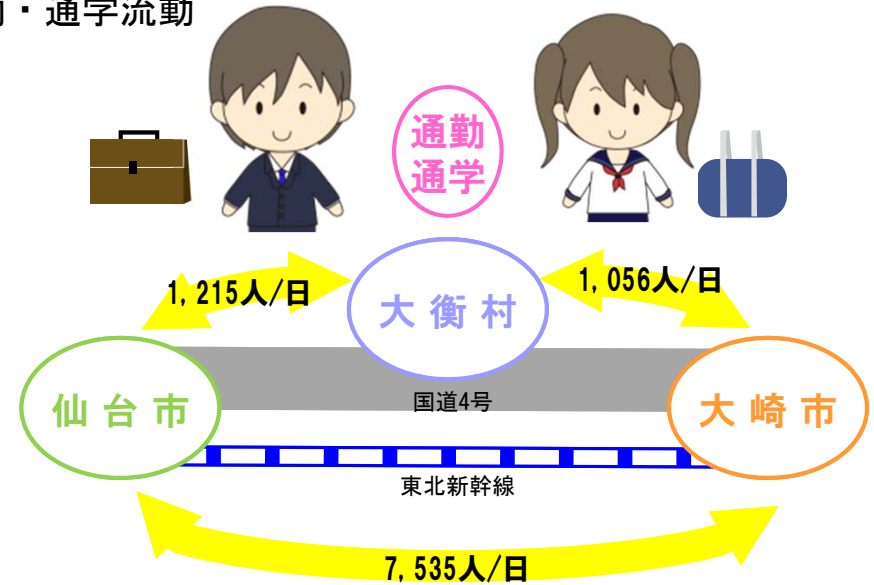
- ◆対象地域の人口はH25. 3頃から徐々に増加傾向。
- ◆大衡村の昼夜人口比率は、139.4と宮城県内で最も高い。（東北地域では第2位）
- ◆大衡村、仙台市、大崎市相互の通勤通学者が多く、通勤通学の手段は自家用車の割合が高い。

■人口増加推移



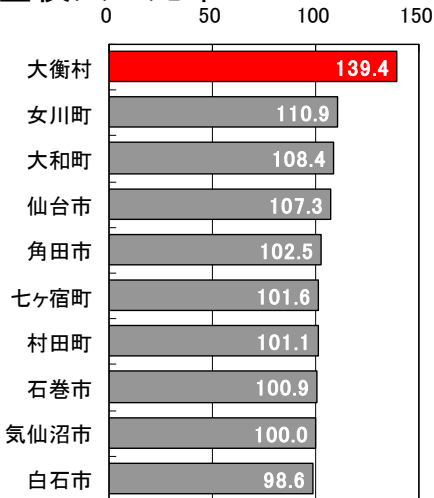
資料：住民基本台帳

■通勤・通学流動

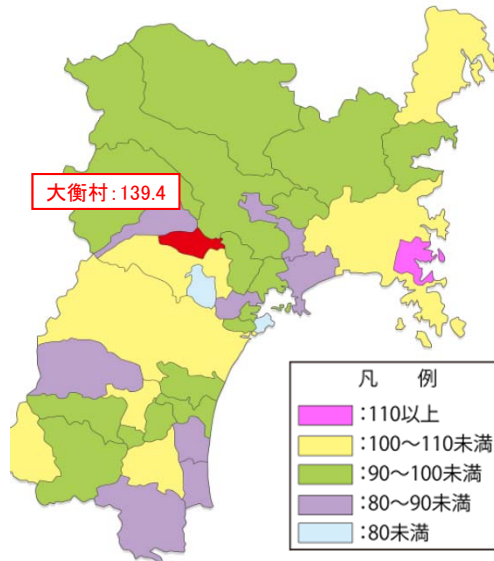


資料：H22国勢調査

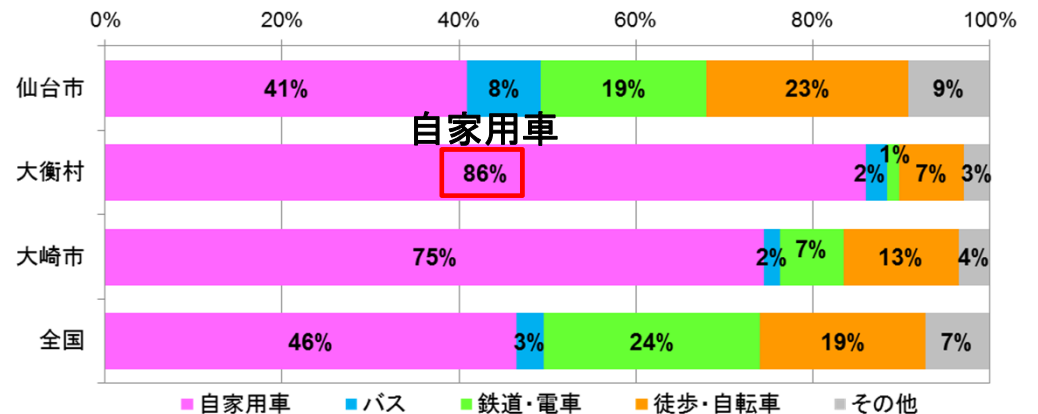
■昼夜人口比率



資料：H22国勢調査



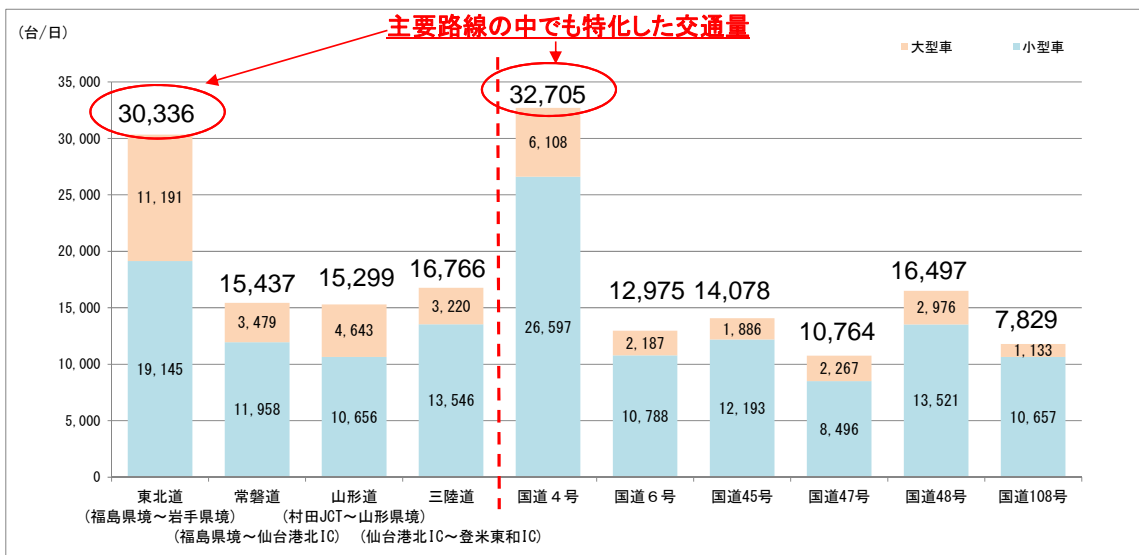
■通勤・通学時の移動手段



資料：H22国勢調査

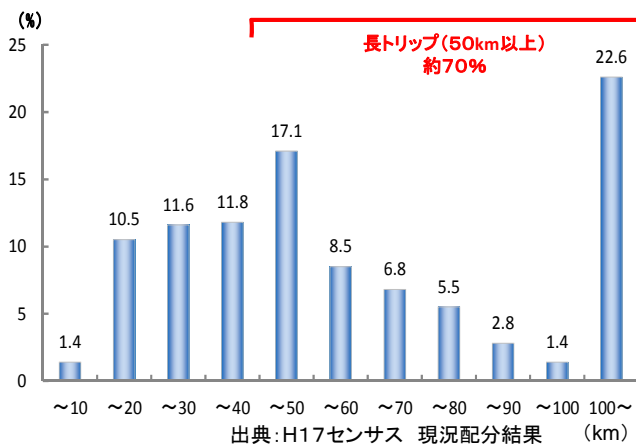
- ◆国道4号は、東北自動車道と一体で宮城県内における交通の大きなウェイトを担っており、大型車も多く県外などからの長トリップ（50km以上）が約7割。
- ◆対象区間の交通特性は、仙台市～大崎市間の移動する通過交通が約5割、次いでその他県外等の広域な通過交通が約4割を占めており、大衡村を発着する内外交通は約1割。

■宮城県内路線別の平均交通量

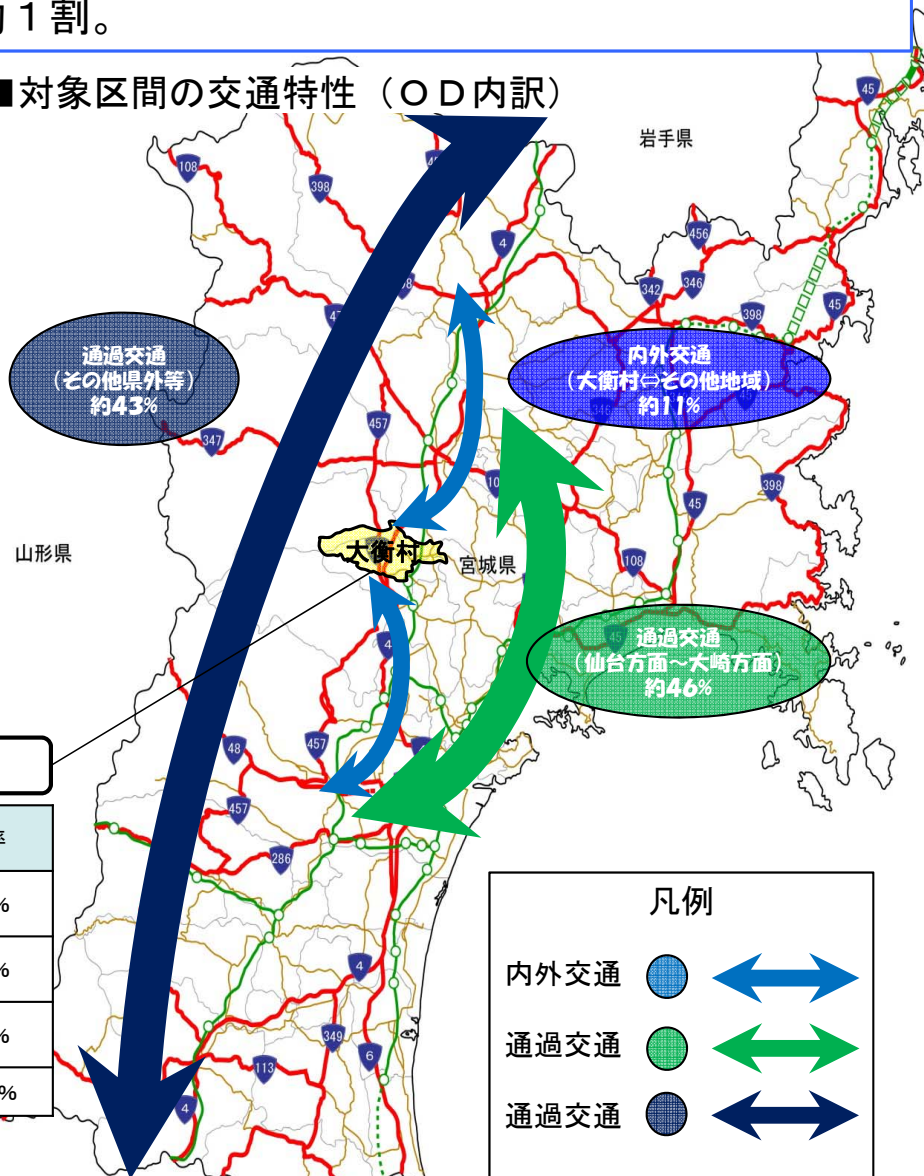


資料:H22道路交通センサス(宮城県主要幹線道路)

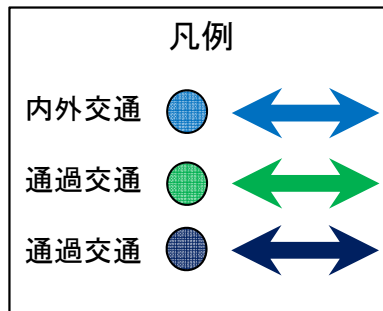
■国道4号大衡地区のトリップ長分布



■対象区間の交通特性 (OD内訳)



交通特性	交通量 (百台/日)	比率
内外交通 (大衡村⇄その他地域)	27	11%
通過交通 (仙台方面～大崎方面)	110	46%
通過交通 (その他県外等)	103	43%
合計	240	100%



※H17道路交通センサスの現況OD調査結果を基に算出

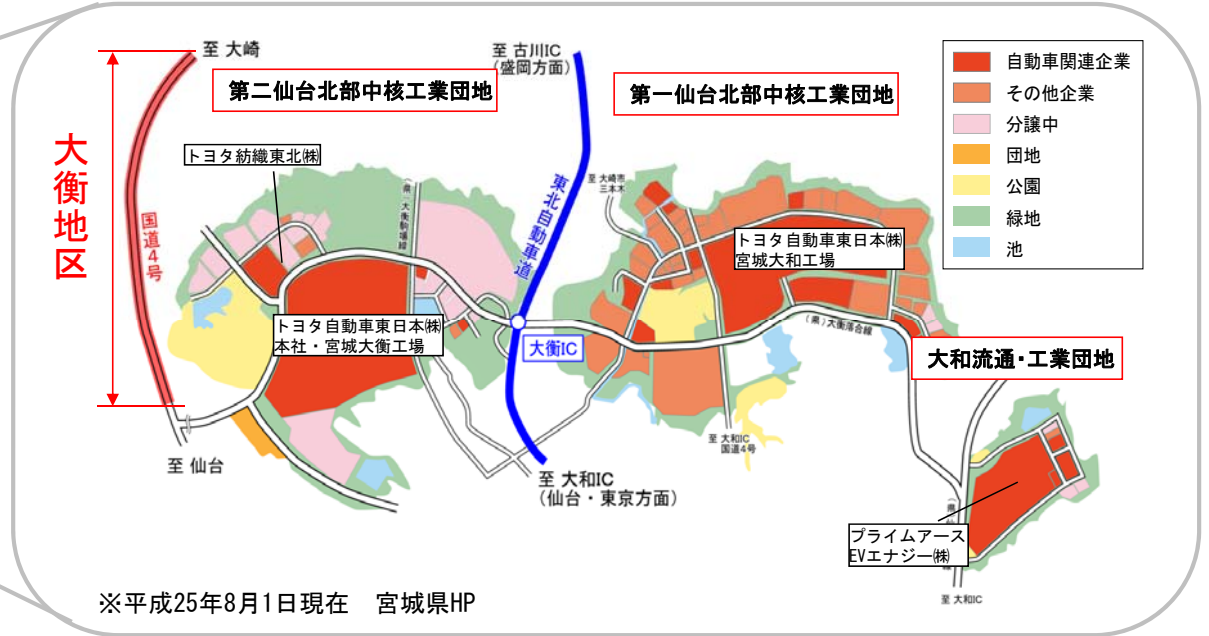
3. 地域の状況（工業団地）

- ◆宮城県内にある工業団地の総面積2,294haに対し、約半数（1,100ha）が当該地域周辺（大衡村、大和町、富谷町、大崎市）に立地。
- ◆国道4号沿線の製造品出荷額、事業所数は宮城県の約3割。

■工業団地立地状況

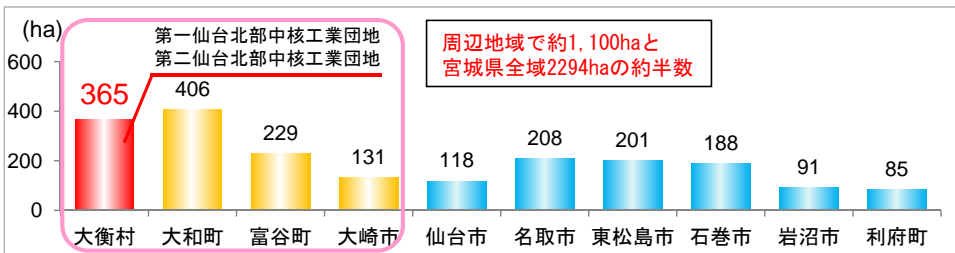


仙台北部中核工業団地群の企業



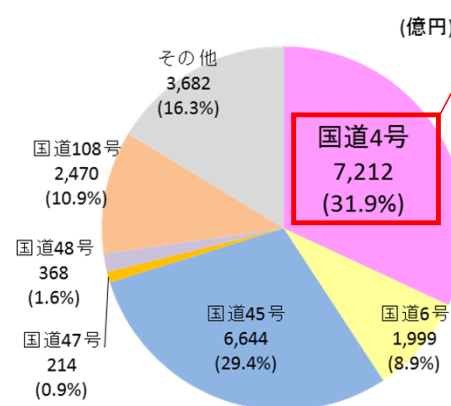
■製造品出荷額、事業所数

■市町村別工業団地面積

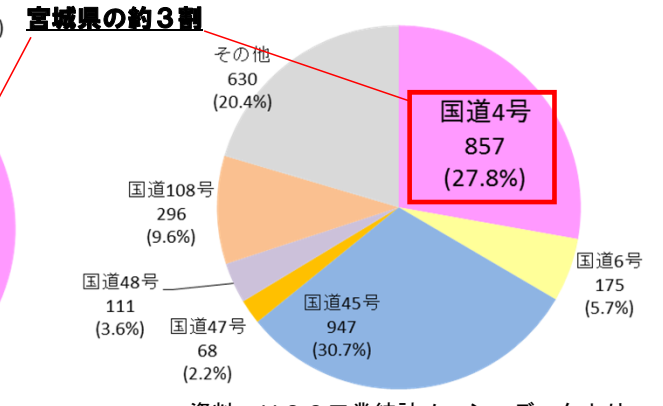


資料：工業団地ガイド（宮城県HP）

製造品出荷額 (H22)



事業所数 (4人以上)

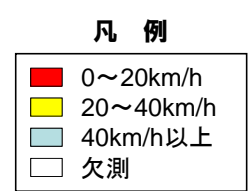
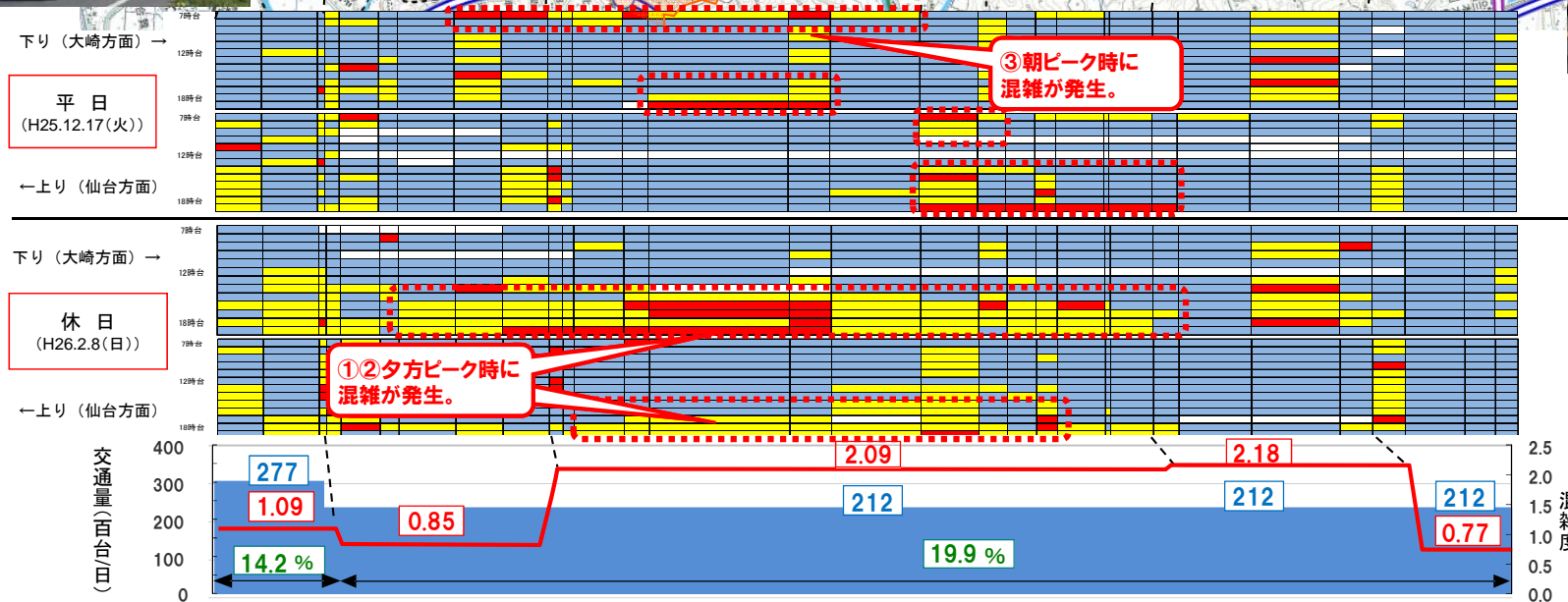
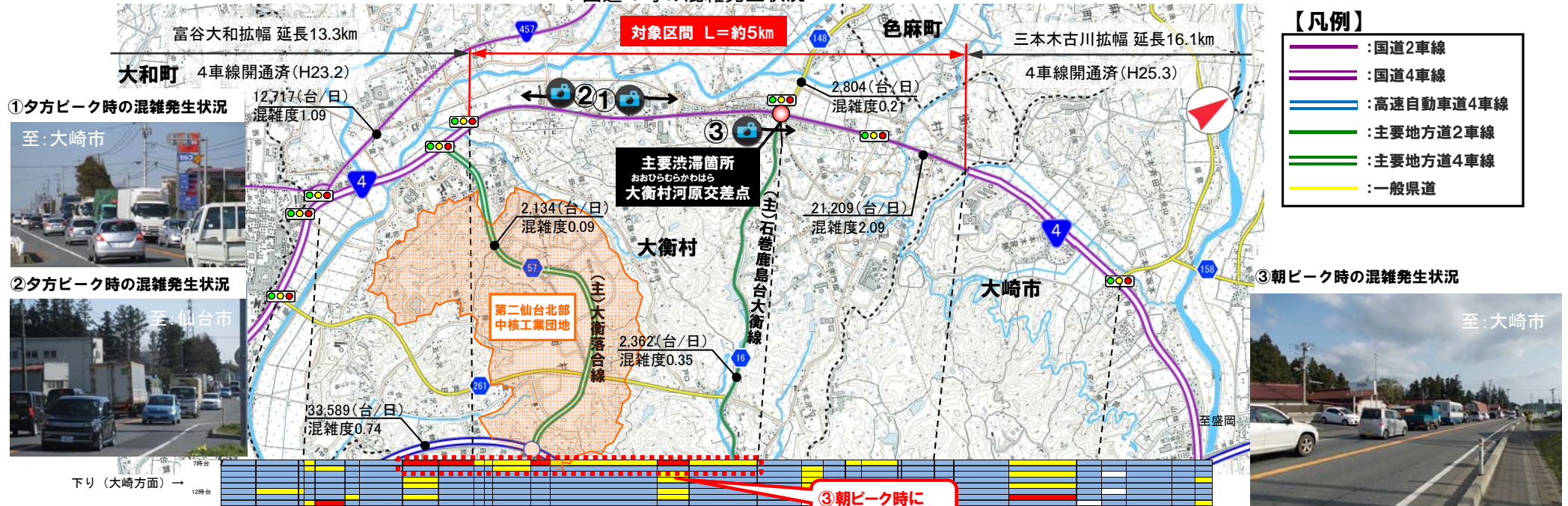


資料：H22工業統計メッシュデータより

4. 道路交通の状況と課題（混雑時旅行速度、混雑度）

- ◆対象区間の2車線区間では、平日の朝夕ピーク時や休日夕方ピーク時において混雑が発生しており、20 km/hを下回る区間が多数発生する状況。
- ◆対象区間は、混雑度が2.09と東北管内の国道4号で最も高い状況。（事業中区間を除く）

▼国道4号の混雑発生状況

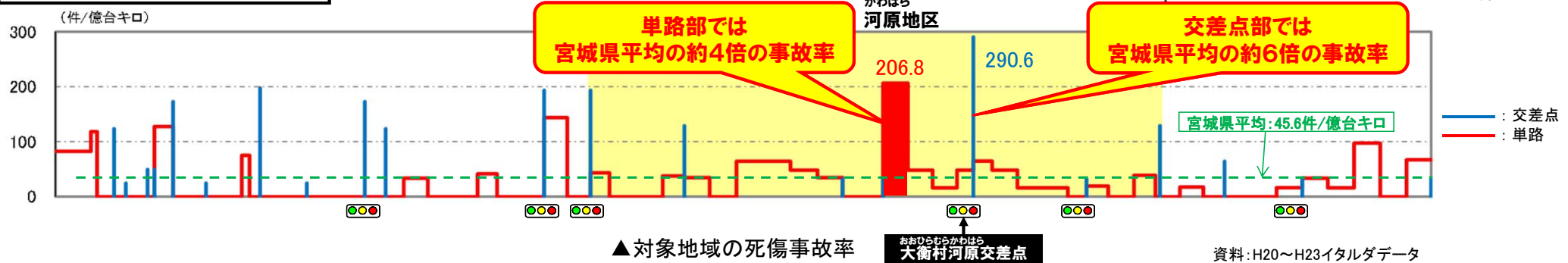


資料:民間プローブデータ

資料:H22道路交通センサス

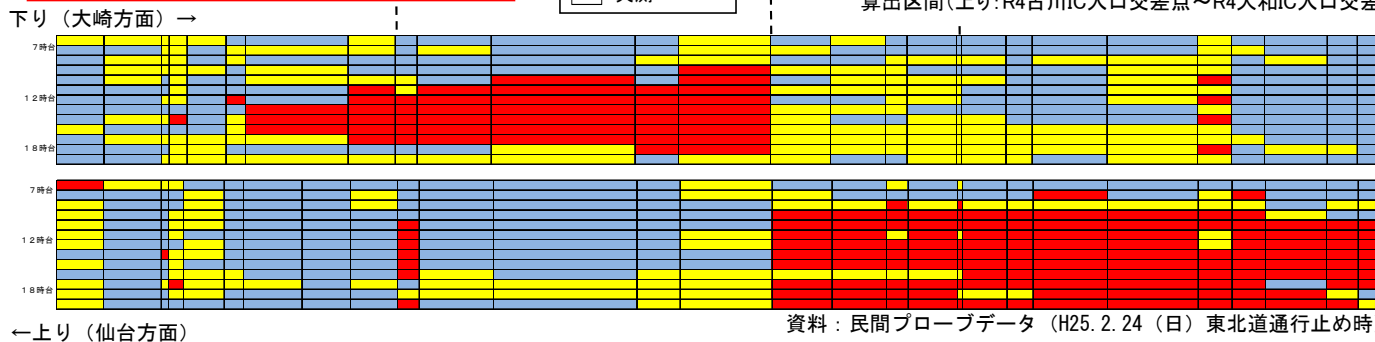
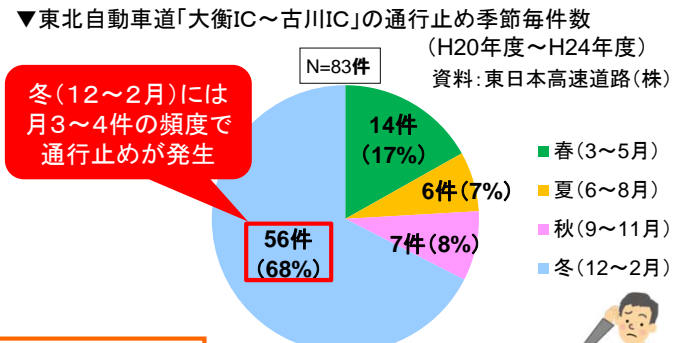
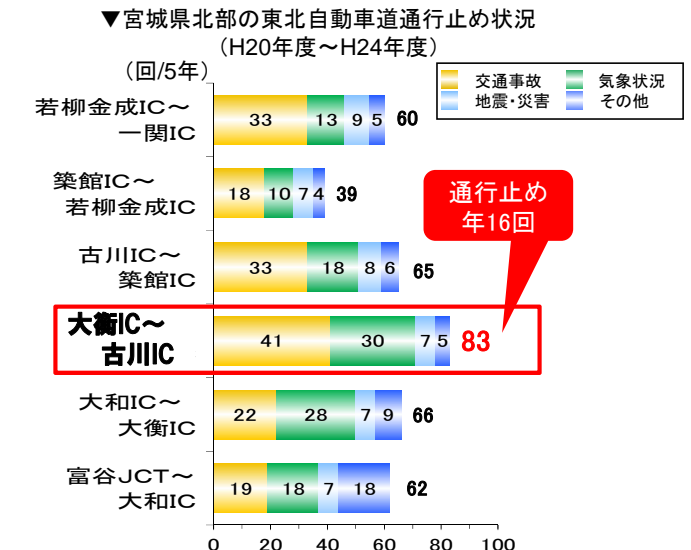
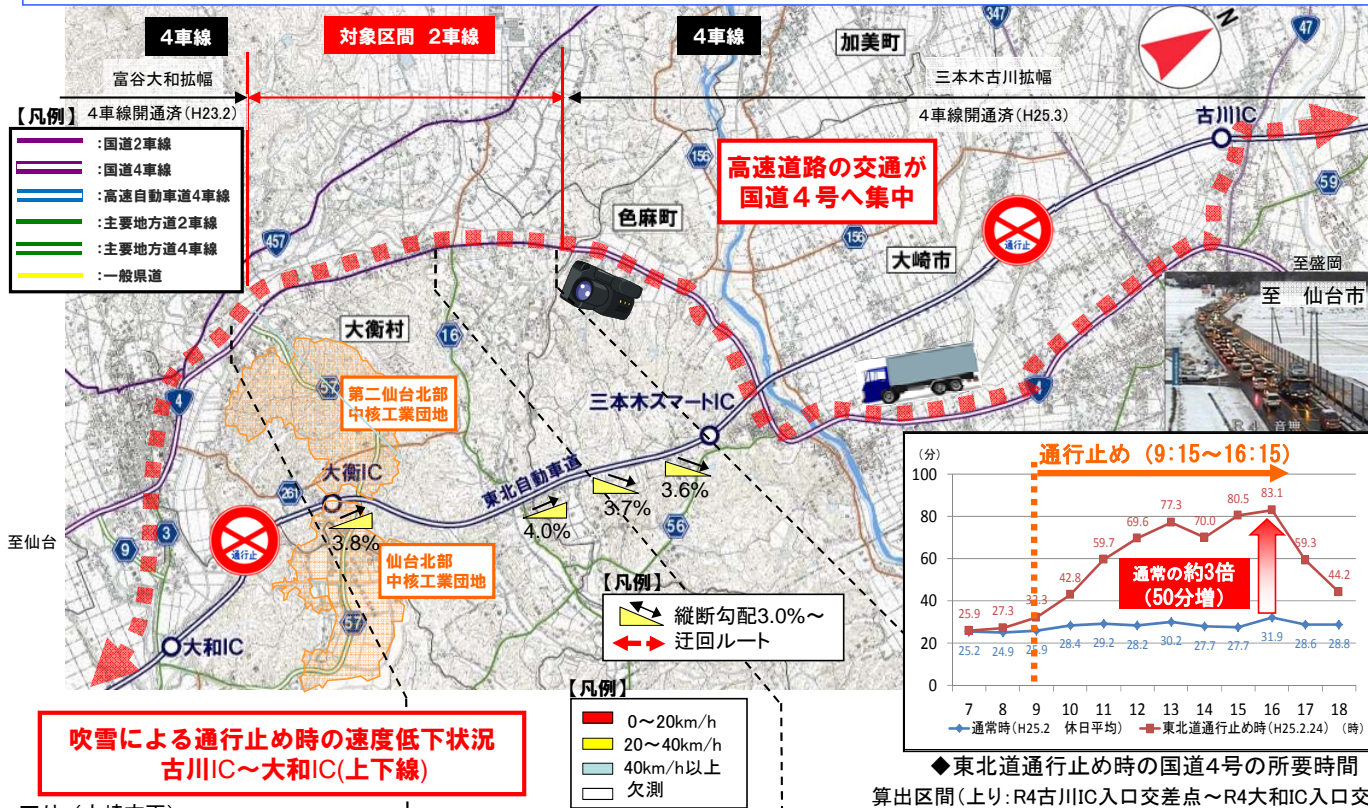
4. 道路交通の状況と課題 (交通事故)

- ◆対象区間では追突事故が多く発生しており、全体の約8割を占める。
- ◆特に沿道に家屋、商店などが集中する河原地区での発生件数が多く、宮城県平均の約4～6倍の事故率となっている箇所が存在。また、平成21年には沿道出入り交通に起因した追突による死亡事故が発生。



4. 道路交通の状況と課題（代替性）

- ◆ 並行する東北自動車道の大衡IC～古川IC間は構造的に急勾配区間が多く、交通事故(雪によるスリップ等)や気象条件(積雪・強風・視界不良)による通行止めが年16回程発生。冬(12月～2月)には、月3～4回の頻度で発生。
- ◆ 東北自動車道の通行止め時、国道4号は迂回路としての代替機能が求められるが、2車線である対象区間がボトルネックとなり、ピーク時には通過に約3倍の時間を要するなど激しい渋滞が発生。
- ◆ 対象区間を利用する広域交通(周辺工業団地の発着貨物等)における時間信頼性の確保が困難な状況。



沿線企業の声

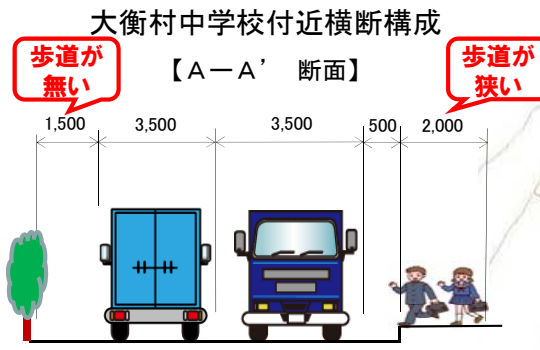
○東北自動車道の通行止めによる国道4号の渋滞により、自動車部品の納入が遅延した。(沿線企業)

○工場内には在庫が僅かであり、納入の遅延により最悪の場合、工場ラインのストップにつながる。(沿線企業)

資料: H24企業ヒアリング

4. 道路交通の状況と課題（歩行空間）

- ◆対象区間は、大衡小学校の通学路に指定されており、歩道未設置区間や幅員狭小区間（2.0m未満）を利用している状況。
- ◆バス利用においても歩道未設置区間を通行する必要があり、地域にとって危険な状況。
- ◆冬期は堆雪により歩道利用が更に困難。



対象区間 L=約5km

大衡中学校 ①

大衡村

大衡小学校

大和町

至仙台 | 至大崎

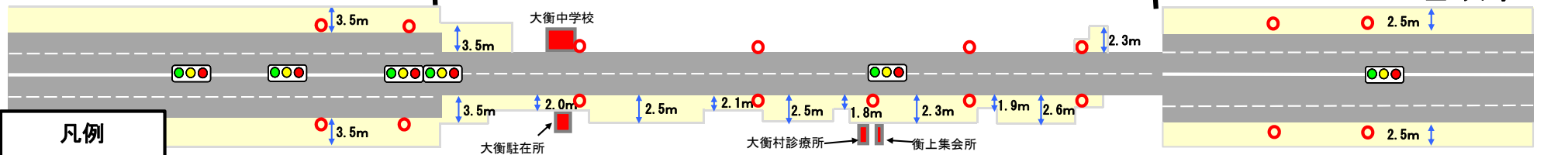
国道2車線
国道4車線
主要地方道2車線
主要地方道4車線
一般県道

地域住民の声

○歩道がないため、大雪などが降った場合、車道にはみ出て歩かなければならぬ。国道4号は交通量が多いので、歩道が必要。
(大衡村衡上地区、男性)

○国道4号の西側に歩道がないために、通学時の子供たちがいつも危険にさらされてる。
(大衡村衡上地区、男性)

資料: H25年度 大衡村役場調査資料より

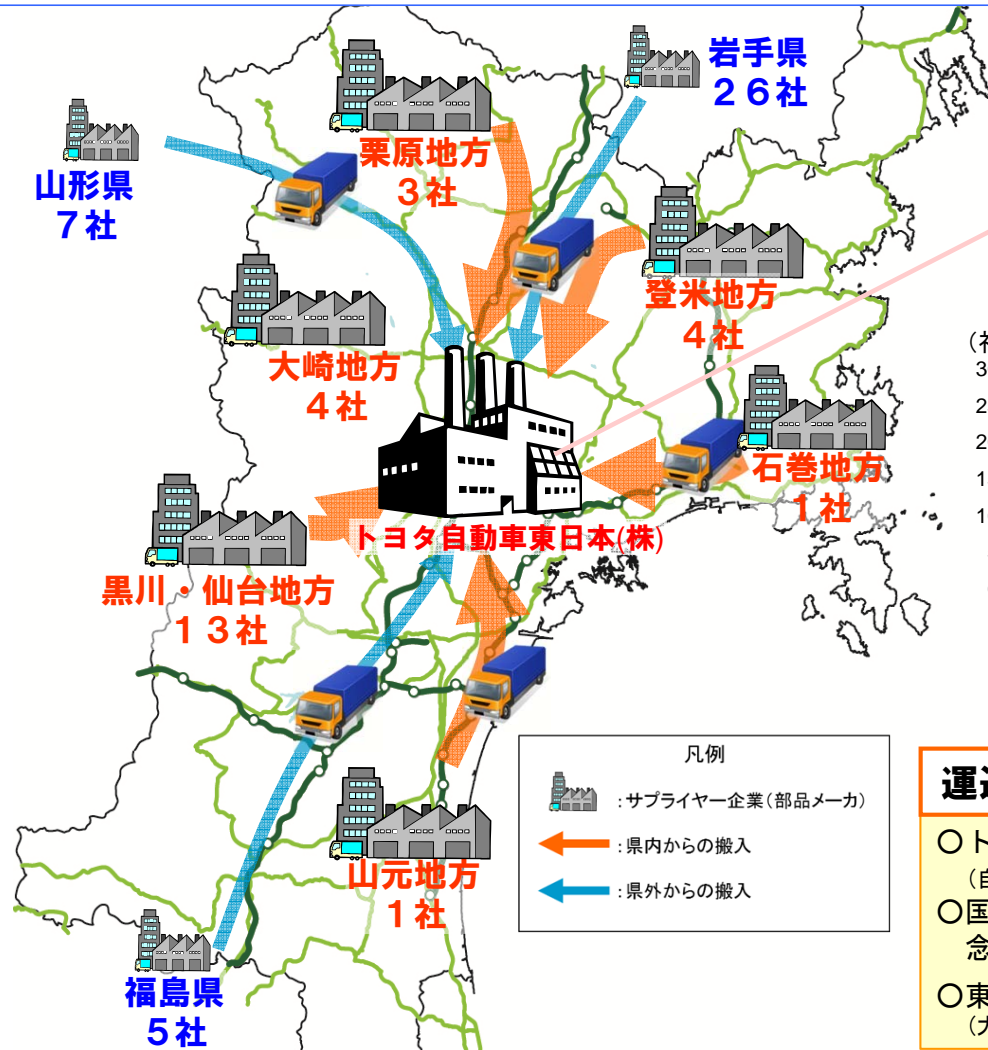


凡例
○ バス停

▲大衡地区の歩道設置状況

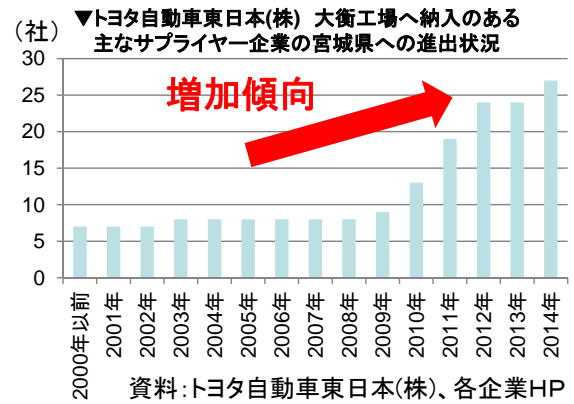
5. 地域の状況と課題（産業）

- ◆対象区間沿線には、仙台北部中核工業団地群があり、トヨタ自動車東日本(株)を始めとした自動車関連企業等が新たに立地するなど自動車関連部品を納入する企業が宮城県内において増加している状況。
- ◆仙台北部中核工業団地群の自動車関連企業では、宮城県内からの調達が増える中、2車線区間がボトルネックとなっている状況。
- ◆国道4号沿線の自動車関連産業が、東北全体の復興と地域経済の発展のために大きな役割を果たしており、さらなる企業立地・雇用確保のためには円滑な物流の確保が必要。



トヨタ自動車東日本(株)宮城大衡工場（宮城県大衡村）が立地

- 平成24年7月に、3子会社（関東自動車工業、セントラル自動車、トヨタ自動車東北）の経営統合により発足。
- 新たに新型ハイブリッド車の生産を検討しており、2015年夏の製造開始が見込まれている。（資料：河北新報 平成26年1月）



自動車関連部品の製造工場が新たに進出

- 株式会社 中外(大和町)
・防音部品の新工場を建設を発表、平成26年9月からトヨタ東日本へ供給
- 株式会社 登米精巧(登米市)
・プレス部品新工場を平成26年1月に落成。近く、トヨタ東日本に向けプレス部品の供給を始める

資料:H26.1新聞情報等より

運送事業者及び・部品メーカーの声

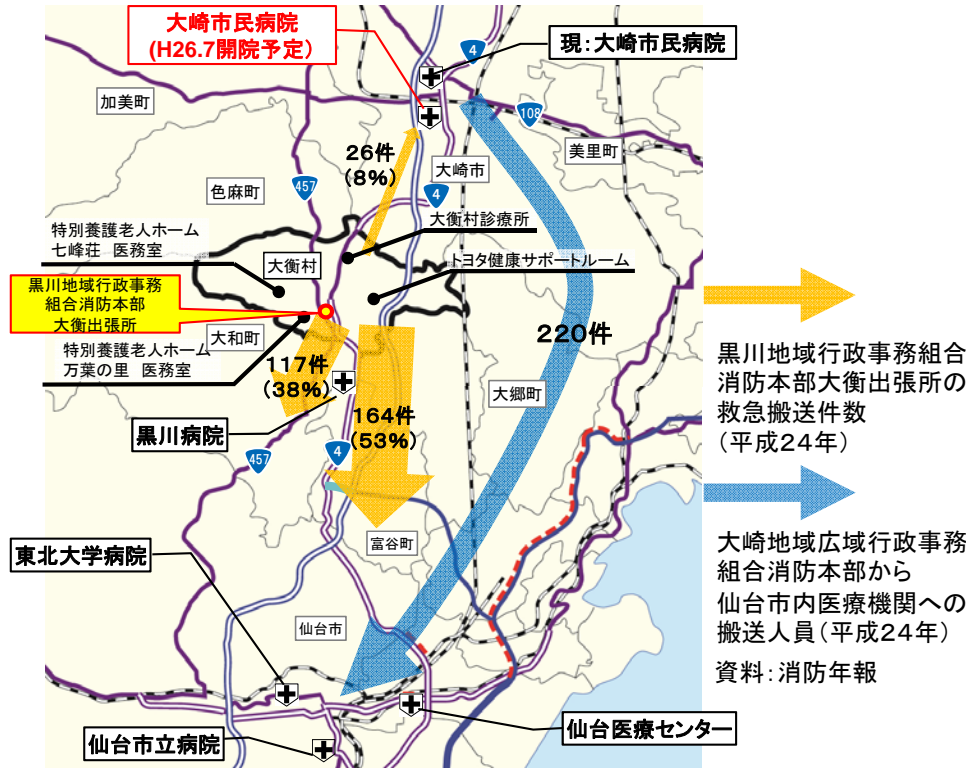
- トヨタの生産ラインにあわせる搬入形態であり、輸送の定時性確保は重要。（自動車関連部品メーカー企業）
- 国道4号は輸送が不安定になりやすく、生産ラインに影響を及ぼすこと等が懸念される。（自動車関連部品メーカー企業）
- 東北道通行止め時の影響が大きく、配送時間に間に合わず経費の増加に繋がる。（大衡村運送事業者）

5. 地域の状況と課題（医療の現状）

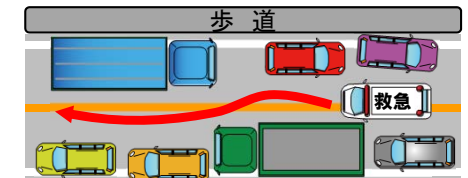
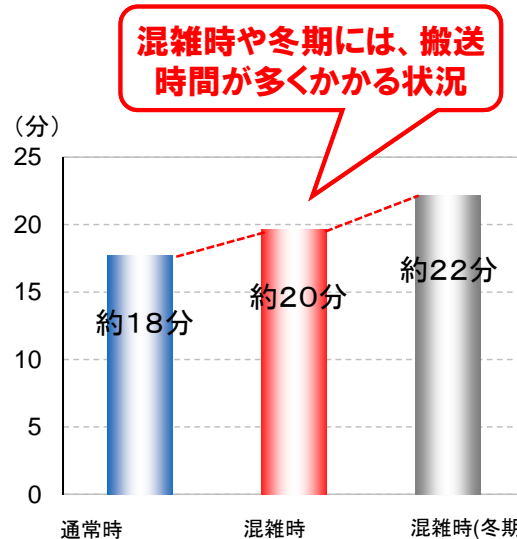
- ◆大衡村内には病院がなく一般診療所のみであり、村民は他市町村へ通院している状況。
- ◆救急搬送は、仙台医療圏（仙台地域、黒川地域）への搬送が約9割となっており、大崎地域広域行政事務組合消防本部管内からも仙台市内の医療機関へ220件／年の搬送実績がある。
- ◆国道4号の対象区間は、混雑が発生していることや2車線であることから追い越しやすり抜けが難しく救急搬送に時間がかかる状況となっており、速達性が確保されていない。

■大衡村の医療施設と救急医療

・医療施設は4診療所のみで、平成24年4月に大衡出張所へ配備された救急車は仙台地域や黒川地域への救急搬送を実施。



■大衡出張所から大崎市民病院への国道4号を使った救急搬送時間



▲仙台方面への搬送状況 (2車線区間で追い越しの状況)

	黒川地域	仙台地域	大崎地域	塩釜地域	合計
件数	117	164	26	3	310
割合	38%	53%	8%	1%	

仙台医療圏が約9割

資料:大衡村役場

▲大衡出張所における救急車出動回数と救急搬送先の内訳(平成24年4月~12月)

大衡出張所(消防)の声

- 国道4号を利用した搬送では朝・夕の時間帯に混雑していたり2車線のため追い越しやすり抜けが出来ず搬送に時間がかかっている状況。
- 国道が整備されれば、より早く救急病院への搬送が可能になると思う。

資料:H26年度 消防ヒアリング結果

		課 題	原 因
道路 交通 について	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・2車線区間で交通混雑が発生 ⇒朝夕のピーク時には旅行速度が20km/h以下となる ⇒主要渋滞箇所（大衡村河原交差点）が存在し、混雑が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が2車線区間の交通容量を上回る ⇒交通量が21,209台/日で、混雑度が2.09と東北管内の国道4号で最も高い(事業中区間を除く)
	事故	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故多発箇所が存在 ⇒死傷事故率が宮城県平均の約4～6倍となる箇所が存在 ⇒沿道への出入交通に起因した事故が多く、死亡事故も発生 ⇒追突事故の割合が全体の8割以上を占める 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道出入り車両が交通の妨げになっている ⇒沿道施設(商店、人家等)が連担
	代替性	<ul style="list-style-type: none"> ・東北道通行止め時は著しい渋滞が発生 ⇒並行する東北道の通行止め（大衡IC～古川IC間）が年16回程発生 ⇒東北道通行止め時のピーク時には通過に約3倍の時間を要する ⇒周辺工業団地発着貨物の時間信頼性確保が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道4号の他に代替路となり得る幹線道路がないため ⇒近隣には代替道路がなく、2車線区間では交通容量が不足 ⇒幹線道路としての機能が不十分
	歩行空間	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者等に危険な歩行空間 ⇒大衡小学校の通学路に指定されているが、歩道未設置区間や幅員の狭小区間（2.0m未満）が存在 ⇒冬期には堆雪により歩道利用が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造上の問題 ⇒歩道の未設置による不連続性、必要幅員狭小
地域 について	産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・東北復興の阻害要因となる物流のボトルネック ⇒2車線区間の交通混雑や速度低下が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時性、速達性が不十分 ⇒容量不足、事故等により輸送効率が低下
	医療	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設への速達性に劣る ⇒国道4号を利用した隣接市町村への通院・搬送において2車線区間の交通混雑により時間を要する ⇒2車線区間ではすり抜けや追い越しが困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道4号の旅行速度が低く速達性が不十分 ⇒通院・搬送経路には、主要渋滞箇所が存在

6. 政策目標の設定（地域の将来像）

宮城県の震災復興計画(策定:平成23年10月)

～宮城・東北・日本の絆 再生からさらなる発展へ～	内容（抜粋）
ものづくり産業の早期復興による 「富県宮城の実現」	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり産業の復興 <ul style="list-style-type: none"> ・比較的被害の少なかった内陸部を中心として、本格的な復興に向け、自動車関連産業や高度電子機械産業等の関連企業等の工場や設備の早急な復旧等を支援するとともに、企業誘致を継続し、地元企業の取引拡大を積極的に進め、本県及び東北のものづくり産業を牽引。【○】【○】【○】 ・産業拠点間のネットワーク化を推進。【○】【○】【○】
災害に強い県土・国土づくり の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■耐災性の高いライフライン・物流システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時にも機能する多重型の交通ネットワークの構築に向けて、道路、港湾、空港、鉄道などの県土の骨格となる重要な交通インフラの整備を着実に進める。【○】【○】【○】
地域を包括する保健・医療・ 福祉の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ■安心できる地域医療の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・医療資源の有効活用と持続的な医療提供のため、医療機関相互の役割分担と病診連携等により、地域医療の連携体制を充実。【○】【○】【○】

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画(策定:平成26年3月)

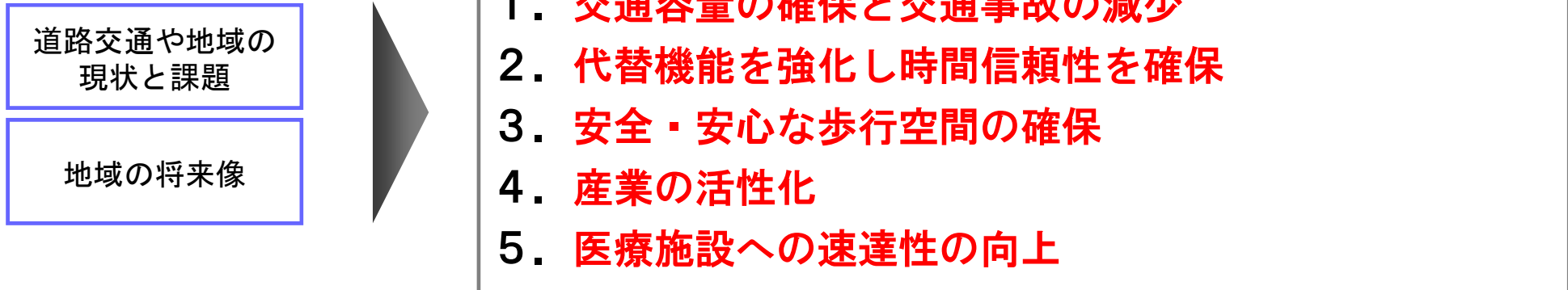
将来ビジョン・33の 取り組み	内容（抜粋）
富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円 への挑戦～	<ul style="list-style-type: none"> ■自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・自律的に発展できる地域を形成するため、山形県などの東北各県や地域の経済団体等との連携を強化し、広域連携施策を検討・推進。【○】【○】【○】 ・トヨタ自動車東日本(株)の発足や、大手部品メーカーの県内進出など、本県の自動車関連産業を取り巻く環境の変化に対応して、地元企業の新規参入と取引拡大を促進することにより自動車関連産業の一層の振興を図るため、取引機械の創出や人材育成、技術支援など総合的な支援を行う。【○】【○】【○】 ■宮城の飛躍を支える産業基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路の整備に合わせたアクセス道路の整備や、産業拠点の形成及び地域連携を支援する広域道路ネットワークを整備。【○】【○】【○】
安心と活力に満ちた 地域社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■安全で安心なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な交通安全施設の整備を推進し、安全で快適な交通環境の整備を図ります。【○】【○】

大衡村の総合計画(策定:平成22年4月)

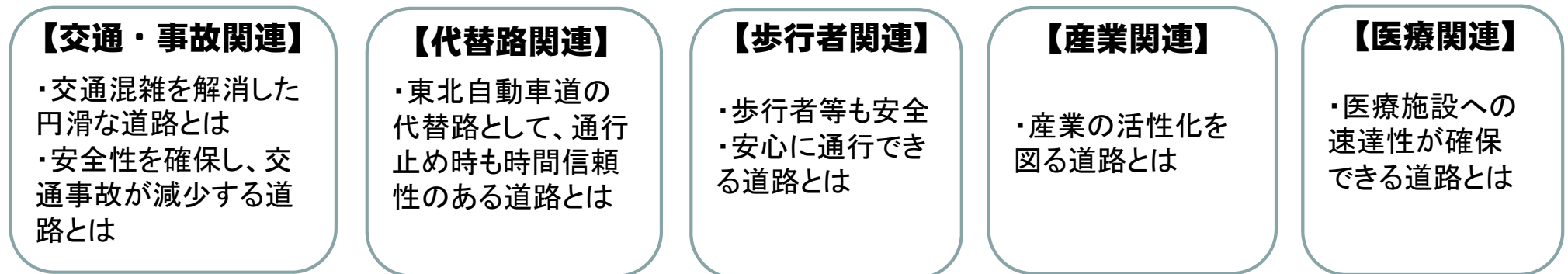
第5次大衡村 総合計画	内容（抜粋）
交通体系 ～みんなが利用 できる交通体系～	<ul style="list-style-type: none"> ■道路網の骨格形成の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国道4号の4車線化を促進。【○】【○】【○】 ■道路環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地にかかる幹線道路や通学路などへの歩道の設置や交通安全施設の整備による安全な歩行空間の形成を推進。【○】
防犯・防災・交通安全 ～安全で安心な 暮らし～	<ul style="list-style-type: none"> ■道路・交通環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の歩道整備や通学路の整備など、交通安全施設の改善に取り組む。【○】 ・だれもが安心・安全に通行できる道路環境の改善を促進。【○】【○】【○】
工業 ～活気ある工業～	<ul style="list-style-type: none"> ■自動車産業に関連した企業誘致の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・企業が用地を拡充・拡大しやすいインフラ整備を進め、企業誘致促進のための条件整備を県や関係団体と連携しながら促進。【○】【○】【○】

【凡 例】 【○】渋滞・事故関係 【○】代替路関係 【○】歩道関係 【○】産業関係 【○】医療関係

◇**道路交通や地域の現状と課題を解消するとともに、地域の将来像を踏まえて政策目標を以下のとおり設定**



◇**対策案の検討方針（案）**



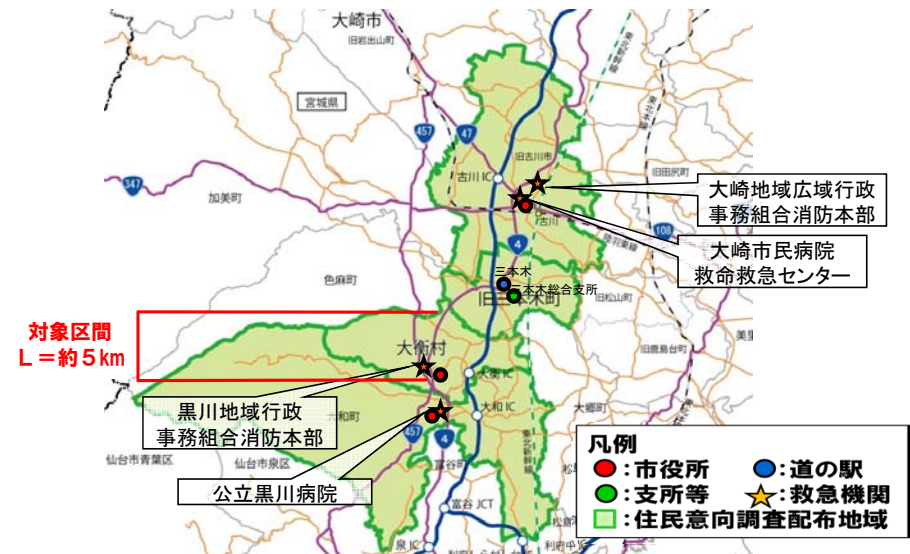
当該地域に求められるサービスとは
⇒安全な沿道空間を確保するとともに、幹線道路機能を確保

道路交通の状況と地域の課題を解決し、地域の将来像を実現する複数の対策案を設定し検討

7. 地域からの意見聴取方法

◆意見聴取の概要

- 内 容:** 道路交通や地域の課題に対する意見を広く聴取
- 対 象:** 対象区間道路利用者
 対象区間の利用が想定される企業・団体・救急機関等
 ※内訳は下表のとおり
- 聴取方法:** はがき郵送及びインターネットページでの回答
 関係企業・団体・救急機関から数社程度抽出し聞き取り
 ※自治体広報誌、ポスター掲示で幅広く広報
- 期 間:** 3週間程度
- 実施主体:** 国土交通省、宮城県、対象市町村



住民（全戸配布）：約44,000世帯			
宮城県	大衡村	1,813世帯	全戸配布 (43,937世帯) (住民基本台帳：H26.4)
	大崎市三本木地区	2,621世帯	
	大崎市古川地区	29,252世帯	
	大和町	10,251世帯	
関係企業・団体：231社・団体			
宮城県	製造業（国道4号を物流路線として利用が想定される対象地域の企業）	129社	231社・団体
	物流業（対象地域の宮城県トラック協会に所属企業）	60社	
	観光施設（対象地域の道の駅、観光施設、宿泊施設）	20社	
	農業（対象地域のJA）	5団体	
	教育機関（大衡村内の教育機関）	2校	
	公共交通機関（対象地域のバス・タクシー事業者）	15社	
救急機関：11機関			
宮城県	消防機関（対象地域の消防本部）	2機関	11機関
	救急機関（対象地域の2次・3次医療機関）	9機関	

◆意見聴取項目と活用方針

意見聴取項目	意見聴取結果の活用	意見聴取
道路交通及び地域の課題	国道4号、地域の現状について、回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する	第1回
比較ルート帯案(複数案)に対する意見	道路整備において、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目について把握する	第2回
回答者の属性、利用状況	回答者の属性把握 回答結果を属性毎で集計し、分析・評価する	共通
その他自由意見	その他、大衡地区に関する意見を幅広く聴取し、計画策定の参考とする	

意見聴取案（1）

①調査概要

⇒本調査の趣旨・調査対象箇所の提示・今後の手続きの流れ

（案）

②国道4号(大衡地区)の現状

⇒現国道4号における道路交通及び地域の課題の提示

（案）

国道4号 大衡地区の計画検討に関する 第1回意見聴取

国道4号は、東京都日本橋を起点とし、青森県に至る延長約860kmの国内最長の国道です。本調査は、仙台市～大崎市間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするための意向調査を行うものです。

意見聴取は2回行い、第1回意見聴取（今回）では、地域の皆様が日頃感じている道路交通や地域の課題等についてご意見をお聞きしたく、ご協力をお願いします。

なお、本調査で頂いた皆様からのご意見は、計画段階評価において地域からの意見として「社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会」に報告いたします。

※「計画段階評価」とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、地域の声を聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい取り組みです。

計画段階評価の流れ

今回はここ

計画段階評価

東北地方小委員会 → 意見聴取 → 東北地方小委員会 → 意見聴取 → 東北地方小委員会 → 対応方針の決定

●計画段階評価の詳しい情報は、「東北地方整備局仙台河川国道事務所のHP」へアクセス願います。

●インターネットによる回答を行う場合には、「国道4号大衡地区 計画段階評価」で検索し、以下のボタンからアクセスして下さい。

国道4号 大衡地区 10月日まで ご意見募集

※東北地方小委員会の資料等は、国土交通省東北地方整備局のホームページでご覧いただけます。
<http://www.thr.mit.go.jp/road/ir/shouinikai/index.html>

大衡地区における国道4号の課題を以下のように考えました

1 2車線区間で交通混雑が発生、交通事故多発

- ◆4車線区間に挟まれた対象区間は、平日の朝夕や休日に混雑が発生し、走行速度が20km/hを下回ることがあります。
- ◆国道4号の大衡地区は交通事故が多く、約8割が追突事故です。また、死亡事故も発生しています。

2 東北自動車道通行止め時は著しい渋滞が発生

- ◆国道4号と並行する東北自動車道（大衡IC～吉川IC間）は、交通事故や気象条件（積雪等）による通行止めが年約16回発生しています。
- ◆通行止め時は、国道4号へ交通が集中し大規模な渋滞が発生しています。

3 東北復興の阻害要因となる物流のボトルネック

- ◆仙台北部中核工業団地群の自動車関連企業では、宮城県内からの調達が増える中、2車線区間がボトルネックとなっています。
- ◆国道4号沿線の自動車関連産業が、東北全体の復興と地域経済の発展のために大きな役割を果たしており、さらなる企業立地・雇用確保のためには円滑な物流の確保が必要です。

4 歩行者等に危険な歩行空間

- ◆対象区間は通学路に指定されていますが、歩道未設置区間や狭小歩道区間があります。
- ◆冬期には堆雪により歩道利用が更に困難な状況になっています。

5 医療施設への到達性が劣る

- ◆大衡村内には病院がなく、一般診療のみであり村民は市町村へ通院しています。
- ◆2車線のため遅い越しやり抜けが困難で救急搬送に時間がかかっています。

【凡例】

- ：国道2車線
- ：国道4車線
- ：高速自動車道4車線
- ：主要地方道2車線
- ：主要地方道4車線
- ：一般国道

7. 地域からの意見聴取方法

意見聴取案（2）

③質問事項

- ⇒○当該地区の利用頻度・目的
- 国道4号及び地域の現状における課題

（案）

（はがき／表面）

（はがき／裏面）

②ページの内容をご確認頂き、意見聴取にお答えください。

●大街地区における国道4号の課題について伺います。

問1 利用頻度
あなた自身についてお聞きします。国道4号（大街地区）の利用頻度について、あてはまる番号を1つ選び、回答欄の口をチェックをお願いします。

1 毎日	4 ほとんど利用しない
2 週に数回程度	5 利用したことがない
3 月に数回程度	

問2 移動手段
国道4号（大街地区）を通行する際の主な移動手段についてあてはまる番号を全て選び、回答欄の口をチェックをお願いします。（複数回答可）

1 自動車・バイク	4 バス
2 自転車	5 その他
3 徒歩	

問3 利用目的
大街地区の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、回答欄の口をチェックをお願いします。（複数回答可）

1 通勤	4 私用（日常的な買物・食事等）
2 通学	5 仕事（営業・運送等）
3 通院	6 その他（ ）

問4-1 国道4号（大街地区）の課題
国道4号（大街地区）にはどのような課題があると思いますか？ あてはまる番号を全て選び、回答欄の口をチェックをお願いします。（複数回答可）
なお、「7. その他」を選んだ方は「その他」の欄に課題と思われることをご記入下さい。

1 交通渋滞の発生（平日の朝・夕や休日等）
2 交通事故のリスクが高い
3 東北道通行止め時、渋滞が著しい
4 歩道未設置区間や幅員が狭い区間があり、通行に不安がある
5 産業活動における物流効率が悪い
6 病院（救急・通院）へ行くのに時間がかかる
7 その他（ ）

問4-2 国道4号（大街地区）の課題
【質問4-1】にお答え頂いた中で、場所や時期なども含む具体的な実体験を教えてください。

問5 其他のご意見
その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

※返信はがきは、お近くの郵便ポストへ平成26年〇月〇日まで投函をお願いします。

③ ご協力ありがとうございました。

郵便はがき

料金受取人払郵便

〇〇局承認

9 8 2 8 5 6 6

差出有効期間
平成〇年〇月〇日まで
（切手不要）

宮城県仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号
国土交通省 東北地方整備局
仙台河川国道事務所 調査第二課 行

ご協力お願いいたします。

あなたについてお聞かせください。

年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上	性別	男 女
職業	会社員・公務員・自営業 農業・学生・主婦・無職 その他（ ）	性別	男 女
住所	[] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []		
運転免許	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		

※個人情報をお同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます。）

質問	
問1	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5
問2	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 その他（ ）
問3	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 その他（ ）
問4-1	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 その他（ ）
問4-2	
問5 自由記述	

ご協力ありがとうございました。

8. 今後の計画段階評価手続きの進め方（案）

◆今後の計画段階評価手続きの進め方（案）は、以下のとおり

今回

【平成26年6月】

